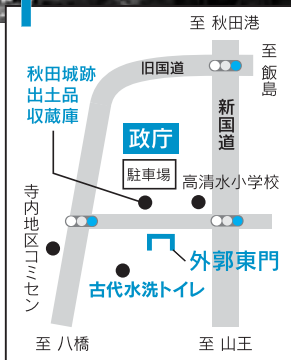


# 古代の息吹伝える秋田城



## 秋田城跡 MAP



当時は、東西・南北約500mの城壁(白線)に囲まれていました。

寺内にある秋田城跡は、1270年ほど前に造られた古代の城「秋田城」の遺跡です。

市では一帯の発掘調査を続けているほか、当時の施設を復元するなど、歴史公園としての整備を進めています。

秋田城は奈良時代(西暦733年)、高清水の丘に造られた古代の城です。奈良時代から平安時代にかけて、秋田を治めていた役所で、政治、軍事、文化の中心地でした。特に奈良時代には、当初、出羽柵と呼ばれ、東北地方の日本海側に広がる出羽国の政治を行う国府(現在の県庁にあたる役所)が置かれていました。また、中国大陸にあつた渤海国からの使者や、青森や北海道に住む蝦夷の人々が訪れる、日本の北の窓口としても重要な場所だつたと考えられます。

秋田城は、堀で囲まれた政庁をさらに1周約2kmの外郭の城壁で囲む二重の形になっていました。政庁は東西94m、南北77mの広さで、正殿と脇殿などの建物が左右対称に配置されています。

## 平城京にもない 水洗トイレが出土

秋田城跡は昭和14年に国の史跡に指定され、法律で守られる遺跡になりました。本格的な発掘調査が始まったのは昭和47年。たくさん



平成10年に復元された外郭東門と築地堀(土を突き固めて造った堀)。

問い合わせ

秋田城跡調査  
事務所  
☎(845)1837

## 秋田城関係年表

和銅3年 (710年)	平城京(奈良)に遷都
天平5年 (733年)	出羽柵を秋田村高清水岡に置く(秋田城の始まり)
天平宝字4年 (760年)	阿支太城(秋田城)の名前が初めて史料に登場する(この頃、改称・改修される)
宝亀11年 (780年)	相次ぐ蝦夷(独自の文化を持ち生活していた東北地方の人たち)の攻撃に対して朝廷が専任国司と兵士の派遣を決定。秋田城介が常置され、出羽北部を統治した
天長7年 (830年)	大地震により、城郭、四天王寺などの建物と仏像が倒壊した
元慶2年 (878年)	蝦夷が蜂起。多くの建物が焼かれ、秋田城が占拠された(元慶の乱)
10世紀 中頃	古代の城としての役割を終える

## 政庁

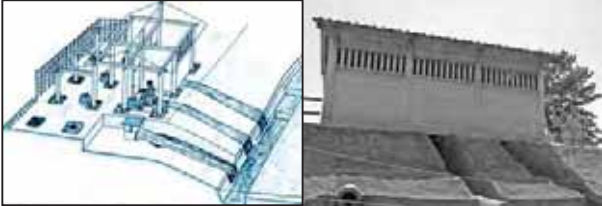


上ノ平成22年に復元された政庁。東門と築地塀は立体復元、正殿などのおもな建物は柱位置の表示です。晴れた日には正殿から鳥海山が見えます。下ノ政庁全体がわかる模型を政庁東側に設置しています。

## おもな

## 復元施設

上ノ平成21年3月に復元工事が完了した水洗厠舎。左上ノ当時の想像図。かめに溜めておいた水をひしゃくで流して、汚物を沈殿槽へ送っていました。左ノ実際に水を流すことができます。ひしゃくも出土品を元に再現したものです。



かわや  
水洗厠舎

## 秋田城跡 出土品収蔵庫



土器や木簡、武器など、秋田城跡の貴重な出土品を展示しています。入館無料。ご希望のかたにはボランティアガイドが説明します。



古代沼から出土した人面墨書土器。まじないの道具として水に流されたものです。

**開館時間** 午前9時～午後4時  
(入館は午後3時30分まで)  
12月～3月は休館

**問い合わせ** 秋田城跡調査事務所 ☎(845)1837

の倉庫や、鉄の品物を作る工場、役人や兵士が住んでいた堅穴住居、井戸など、当時の建物や生活の跡が数多く発見されています。

中でも珍しいのは古代の水洗トイレです。奈良時代の後半に使われたもので、沼地の岸辺に建てられていました。建物と水洗施設が一体化していて、当時の都にもない立派な施設です。出土した寄生虫の卵の種類から、地元の人ではなく、ほかの地域や中国大陸から

## 秋田城を伝え、 活用する歴史公園

の使者など重要な人たちが使ったと考えられています。

市では、貴重なこの遺跡を次の世代へ継承し、活用していくため歴史公園として整備しています。これまでに外郭東門と築地塀、古代沼、政庁、古代水洗厠舎などを復元しました。遊歩道もあり多くの野鳥も訪れる公園は、日本の歴史公園100選に選ばれています。